

令和 5 年度		2 学年		普通 科		
教科名	美術	科目名	美術Ⅱ		2 単位	
		担当者	大矢 長門			
<b>1. 学習目標</b>						
美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。						
<b>2. 使用教材等</b>						
・教科書名 高校生の美術Ⅱ 日本文教出版						
・副教材名						
<b>3. 学習項目（学習内容）</b>						
学期	月	単元	学 習 内 容	時間数	考査	
1	4 5	色彩トレーニング	形容詞で設定したキーワードをもとに、そのイメージを色彩で表現する	6		
	6 7	日本の伝統的色彩と文様	日本の伝統色で四季を表現する。また伝統的文様を研究してオリジナルの文様を制作する	19		
2	8 9 10 11 12	染色とデザイン	1学期で学んだ日本の伝統色と文様の経験を活かして、ふろしきのデザインを考える。伝統的な「型染め」の技法を用いてふろしきを制作する。	30		
	3	1 2	鋳造	指輪をデザインして、鋳造研磨を行う	15	
		3	鑑賞と表現	オリジナルの抽象絵画の制作		
	<b>4. 評価の観点</b>					
①関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。					
②思考・判断・表現	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。					
③技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。					
④知識・理解	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。					
<b>5. 評価の方法</b>						
・課 題： 単元ごとの作品、クロッキー帳						
・授業態度： 授業に取り組む姿勢、出欠状況、道具の準備、片付け						
<b>6. 学習にあたっての注意とアドバイス</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査はありません。単元ごとの作品・提出物、授業態度(出欠状況含む) から総合的に評価します。</li> <li>・単元ごとに必要な知識や技術を習得し、自分なりに工夫して取り組む姿勢を期待します。</li> </ul>						